



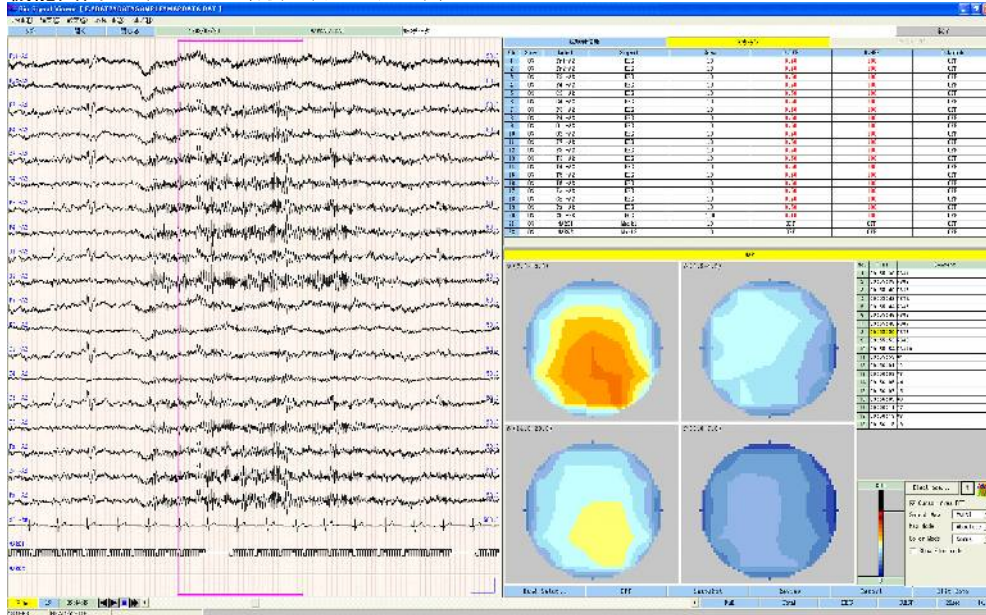
# Mapping Play Analysis

マッピング再生解析機能プログラム (Mapping Play Analysis) は、PSG フォーマットで収録保存されたデータを読み出してオフラインで周波数解析を行い、帯域ごとの電位分布表示 (Map 表示, Topography 表示) を行うプログラムです。ログラムは、波形ビューワプログラム (Bio Signal Viewer, AP-Viewer) にアドインする形で機能を組み込み、波形ビューワと連動して動作します。結果は、レポート印刷及びマップイメージをクリップボードにコピーして、他のアプリケーションで解析結果を扱うことができます。

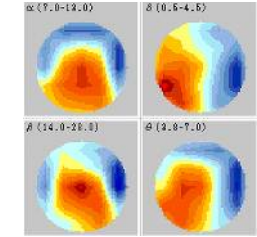
## 特徴

- Bio Signal Viewer のオプションソフトとして機能します。
- 最大 8 帯域までの周波数帯域を設定可能です。帯域ごとに電位分布表示が可能になります。
- 電極名で格子位置を指定できます。
- マップ色レンジをグラフィカルに操作・指定できます。
- マップ分布モードを 3 通りから指定できます。用途により、絶対値 (Absolute)、相対値 (Relative)、含有率 (Contain) のモードを切り替えて、マップ表示します。
- バンドパスフィルター機能により、アーチファクトの影響を少なくすることが可能です。
- カーソルで解析区間を指定できます。
- スナップ機能により、複数の解析位置を保持することができます。必要な位置で、スナップ機能を使用してコメントを保持します。リストから、瞬時に解析位置を選択して、マップ表示が可能です。スナップ情報は、自動的にファイルに保持されます。
- スナップ登録したマップを一覧表示 (Review 表示) することができます。
- レポート印刷が可能です。マップ及び波形をレポート印刷することができます。
- 波形表示と連動動作が可能です。
- マップイメージをファイル形式でクリップボードへコピーできます。
- 操作ヘルプが充実しています。

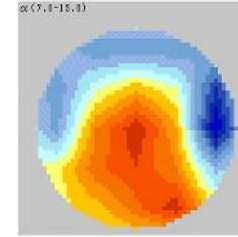
## 機能画面 (Viewer の右側に表示されます)



マルチ帯域マップ表示



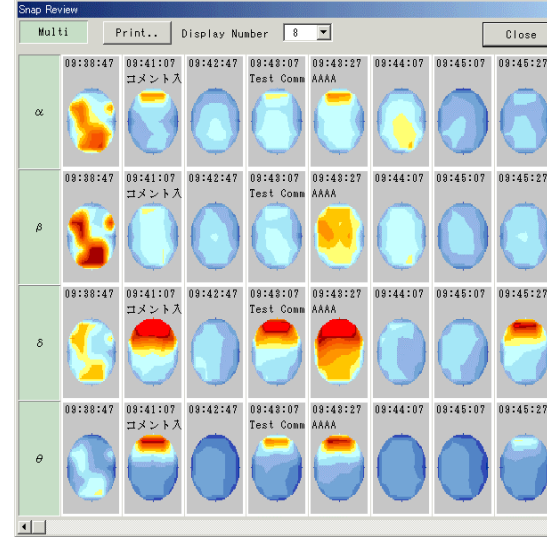
シングル帯域マップ表示



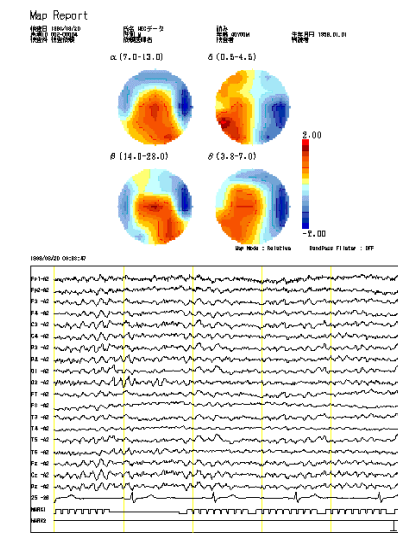
SNAP リスト表示

No.	Time	Comment
1	09:39:07	コメント1
2	09:40:47	コメント2
3	09:42:47	コメント3
4	09:45:47	アーチファクト
5	09:47:27	コメント5
6	09:49:27	コメント6
7	09:52:27	コメント7

SNAP 登録マップ一覧表示



レポート印刷例



## 仕様

- 解析帯域チャネル数 最低 1 2 電極部位
- 解析周波数帯域数 最大 8 帯域 (マップ数)
- 周波数解析方式 FFT (高速フーリエ変換) 方式
- マップ表示数 マルチ表示、単独帯域表示
- マップ表示モード 絶対値 (Absolute)、相対値 (Relative)、含有率 (Contain)
- 前処理 バンドパスフィルター機能
- 解析位置保持 スナップ登録により、解析位置とコメントを保持・保存可能
- Review 表示 スナップ登録のマップ一覧表示 (最大 16 × 8)
- 波形表示との連動 スナップ登録のリストと連動
- レポート印刷 可能 (ページ波形も同時印刷可能)
- イメージ出力 マップイメージのファイル形式でのクリップボードコピー
- 加算マップ機能 別売オプションで可能

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

## 動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium II 500MHz 相当以上
- メモリ 2GB 以上 (推奨 4GB 以上)
- ハードディスクの残り容量 10GB 以上
- 表示解像度 1024 × 768 以上 (解析時には 1280 × 1024 以上推奨)
- 対応 OS Windows7, Windows8, Windows10, Windows Xp (日本語推奨)